



平成 27 年 5 月 22 日

日本水大賞委員会

名誉総裁：秋篠宮殿下

委員長：毛利 衛 日本科学未来館館長

同時発表

環境問題研究会、厚生労働記者会、農政クラブ、農林記者会、文部科学記者会、経済産業クラブ

第 17 回日本水大賞

2015 日本ストックホルム青少年水大賞

各賞が決定しました。

日本水大賞は、水に係わる様々な活動に各地で熱心に取り組んでおられる団体や個人などを顕彰し、これからの活動の発展を期待して進めて参りました。

全国各地の水に係わる活動が更に進み、環境の保全や地域の活性化に大きく貢献できるよう祈念し、日本水大賞をはじめ各賞を決定いたしました。

第 17 回日本水大賞

(副賞 200 万円) 岩手県 学校

活動主体の名称：岩手県立宮古工業高等学校 機械科 津波模型班

活動の名称：地形特性を反映した津波模型による疑似津波の実演活動

2015 日本ストックホルム青少年水大賞

(副賞 20 万円、国際コンテスト【Stockholm Junior Water Prize】に日本代表で参加)

学校・クラブ等：東京都立多摩科学技術高等学校 科学研究部

調査研究の表題：黄金井の水環境～「ハケ」と共に生きる水～

1. 日本水大賞について

日本水大賞は、日本水大賞委員会（名誉総裁 秋篠宮殿下、委員長 日本科学未来館館長 毛利 衛）、国土交通省が主催し、安全な水、きれいな水、おいしい水にあふれる 21 世紀の日本を目指して、水循環系の健全化に向けた諸活動を広く顕彰し、活動を支援するため平成 10 年 6 月 22 日に創設されました。今回で第 17 回を迎えます。我が国で水環境における全ての団体、個人の研究活動を対象にした唯一の賞であり、大賞以下、水行政に関わる 6 省に大臣賞を設けています。詳しくは「資料 1」をご参照下さい。

2. 日本水大賞の各賞について

日本水大賞は、水循環系の健全化を図る上で社会的貢献度が高く、総合的な見地からみて特に優れたものに対して大賞が贈られます。その他、特に優れたものに対して国土交通大臣賞、環境大臣賞及、厚生労働大臣賞、農林水産大臣賞、文部科学大臣賞、経済産業大臣賞、市民活動賞、国際貢献賞、未来開拓賞、審査部会特別賞を授与する事としています。

また日本ストックホルム青少年水大賞について、大賞受賞者には 8 月にスウェーデンで開かれる国際コンテスト【Stockholm Junior Water Prize】に日本代表として参加して頂きます。その他にも審査部会特別賞を授与する事としています。

3. 日本水大賞の応募状況

第 17 回日本水大賞の募集は、平成 26 年 7 月 7 日（川の日）に募集告知を行い、同年 10 月 31 日に締切りました。第 17 回日本水大賞には全国より 133 件、「2015 日本ストックホルム青少年水大賞」には全国の高校より 25 校の応募がありました。

4. 各賞の決定について

日本水大賞の各賞の決定は審査部会において厳正な審査を行い、最終的に平成 27 年 3 月 16 日（月）の日本水大賞委員会において「資料 2」のとおり決定致しました。受賞の理由、評価につきましては「資料 3」にございます。

なお、日本水大賞委員会及び審査部会の構成メンバーは、「資料 4」のとおりです。

5. 表彰式及び受賞活動の発表会の開催について

日 時：平成 27 年 7 月 7 日(火)

会 場：東京都江東区 日本科学未来館

お問合せ先

日本水大賞委員会

公益社団法人日本河川協会

〒102-0083 東京都千代田区麴町 2-6-5

TEL：03-3238-9771 FAX：03-3288-2426

担当：主任研究員 小野 忠幸